

東日本大震災に係る被災地産品の魅力と安全性等を発信する取組

開催概要

消費者庁は、内閣府食品安全委員会、復興庁、農林水産省及び経済産業省と連携し、東日本大震災に係る被災地産品の魅力と安全性等を発信する取組を、東京駅及び都内近郊飲食店にて、以下のとおり開催しました。

1. Learn Marche ～太平洋(岩手・宮城・福島・茨城)のいまを知って、おいしさ実感!～

東日本大震災に係る被災地(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)の産品を集めたマルシェを開催しました。また、これら被災地における食品の安全確保についての取組を解説するパネル展示や被災地の水産加工事業者とバイヤーによるトークショー等を行いました。

【詳細】

開催日時: 令和6年2月16日(金) 12:00～20:00

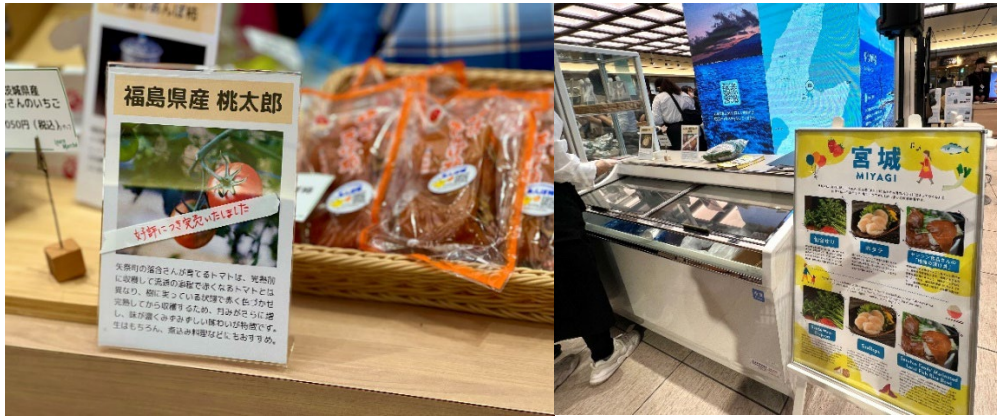
開催場所: JR 東日本 東京駅改札内 B1 スクエアゼロ

参加者数: 1,965 名

【開催の様子】

○マルシェ





○パネル展示



○トークショー



2. 東北・常磐 味旅フェア ～岩手、宮城、福島、茨城～

都内近郊の飲食店 3 店舗において、宮城県産「生ホタテ」、福島県産「ひとめぼれ」等の被災地の食材を使用した特別メニューを提供しました。

【詳細】

開催日時: 令和 6 年 2 月 13 日(火)～令和 6 年 3 月 13 日(水)

開催店舗: ブッフェ ザ ヴィラ(玉川高島屋 S・C ガーデンアイランド)

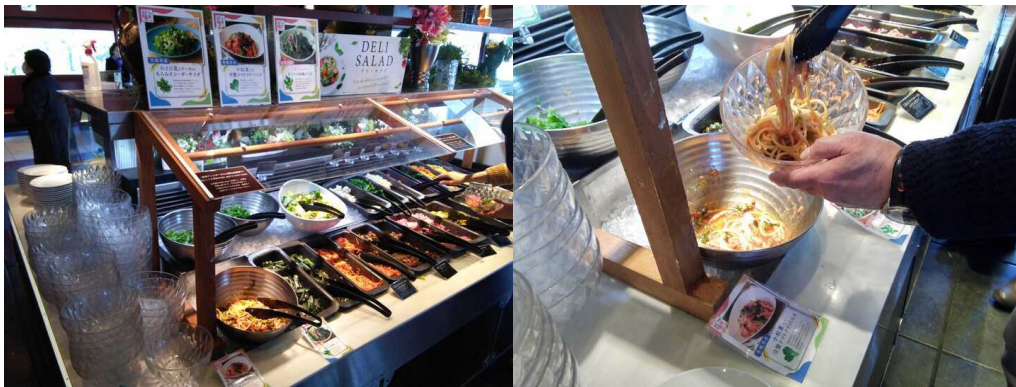
ブッフェレストラン 八猷(イオンモール幕張新都心)

ブッフェ エクスブルー(ららぽーと横浜)

参加者数: 28,243 名 (3 店舗合計)

【開催の様子】

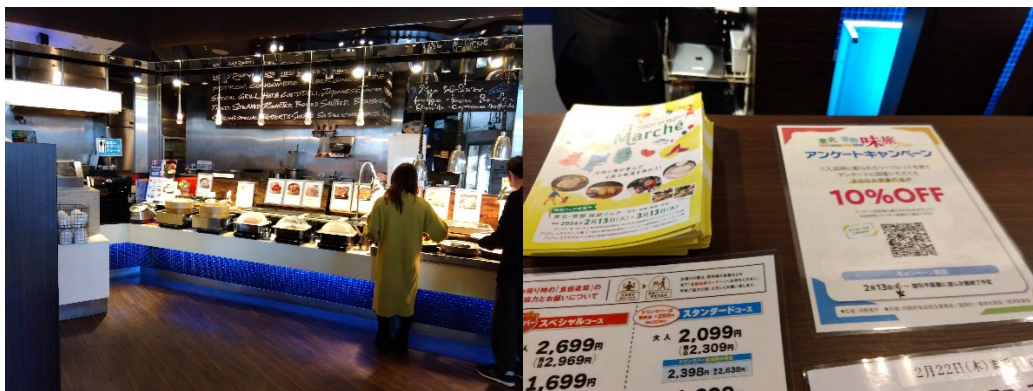
○ブッフェ ザ ヴィラ(玉川高島屋 S・C ガーデンアイランド)



○ブッフェレストラン 八猷(イオンモール幕張新都心)



○buffet エクスブルー(ららぽーと横浜)



3. アンケート結果まとめ

「参加して、食品中の放射性物質に関する考え、気持ちは変わったか」と聞いたところ、「参加前は不安だったが、参加して安心にした」又は「参加前も参加後も安心していることに変わりない」と回答し、最終的に「安心」と思った方の割合は、合計で 89.1%となりました。

「参加して、被災地4県の食材・特産品を購入したい気持ちに変化はありましたか？」と聞いたところ、回答した方は「購入意欲が高くなった」「購入意欲がやや高くなった」「変化はない」と回答した人の割合は、合計で 99.7%となりました。